

# としょかんだより

## 第173回 芥川賞・直木賞

令和7年7月16日に選考会が行われ、いずれの賞も『該当作なし』と発表されました。両賞とも受賞がないのは1998年の第118回以来27年ぶり、6回目です。いずれの賞もノミネート作品をご紹介します。

### 芥川賞

グレゴリー・ケズナジャット 『トラジェクトリー』（「文藝春秋」6月号）所蔵あり

英会話教師になって三年。ブランドンはカワムラさんとアポロ11号の記録を読み続ける。

こまだ じゅんや

駒田 隼也 『鳥の夢の場合』（「群像」6月号）所蔵なし

「おれ、死んでもうた。やから殺してくれへん？」蓮見の頼みに、初瀬が自らの意思を決めるまでの五十五日。

さきさか

向坂 くじら 『踊れ、愛より痛いほうへ』（河出書房新社）913.6 サ

幼い頃から納得できないことがあると「割れる」アンノは、愛に疑念を抱いていた。恋を疑い、家庭を拒否して、アンノは走り出す。世界を置き去りにして…。

ひびの

日比野 コレコ 『たえない光の足し算』（「文藝春秋」6月号）所蔵あり

「痩せたら何もかもが変わる！」美容外科のポスターの啓示に打たれて、蘭は「異食の道化師」になった…。

### 直木賞

あいさか とうま

逢坂 冬馬 『ブレイクショットの軌跡』（早川書房）913.6 ア

自動車期間工の本田昂は、2年11カ月の寮生活を終えようとしていた。最終日、同僚がSUVブレイクショットのボルトをひとつ車体の内部に落とすを目撃する。見過ごせば明日からは自由の身だが…。

あおやぎ あいと

らんぼ ちうね

青柳 碧人 『乱歩と千畝』（新潮社）913.6 ア

巨匠・江戸川乱歩と、ユダヤ人を救った外交官・杉原千畝。まだ何者でもなかったふたりは希望と不安を抱え浅草の猥雑な路地を歩き語り合い…。斬新な発想で描く波瀾万丈の物語。

あしざわ よう

芦沢 央 『嘘と隣人』（文藝春秋）913.6 ア

リタイアした元刑事の平穏な日常に降りかかる事件の数々。身近な人間の悪意が白日の下に晒された時、捜査権限を失った男・平良正太郎は、事件の向こうに何を見るのか？ 連作ミステリ。

しおた たけし

塩田 武士 『踊りつかれて』（文藝春秋）913.6 シ

不倫を報じられて苛烈な誹謗中傷を受け、自ら死を選んだお笑い芸人。一方、伝説の歌姫は写真週刊誌のデタラメに踊らされ、人前から姿を消した。彼らが目にした絶望とは…。

なつき しほ

いつだつ

夏木 志朋 『Nの逸脱』（ポプラ社）913.6 ナ

ペットショップでアルバイトをする金本篤は、売れ残ったトカゲを店長に譲ってくれと頼む。提示された金額はあまりに高額で、「ある男」を強請って金を得ようとするが…。3つの物語。

ゆづき ゆうこ

柚月 裕子 『逃亡者は北へ向かう』（新潮社）913.6 ユ

3月の東北。震災直後に殺人を犯してしまった真柴亮は、一通の手紙を手に北へ向かう途中、家族とはぐれた子供と出会う。一方、刑事の陣内康介は、津波で娘を失いながらも真柴を追い…。